

を日本の軍事的立場に與へるであらう、しかしアメリカの次の動きは最後の決定的手段即ち責任ある筋が日本の侵略計畫に對する最後の一撃であると信じてゐる石油、ガソリンの對日完全禁輸でなければならぬと指摘されてゐる。重慶の一般民衆はアメリカが日本軍國主義者を取扱ふには積極的行動が必要であると決意したことを満足をもつて見てゐる。

三、「中央日報」はアメリカの對支新借款を「傳統的支米友好關係の今一つの證據である」と批評してゐる、現在これに關する我々の感情は多方面に及んでゐる、(一)通商的には互惠的で最も公平、合理的な處置である、(二)財政的には我國爲外國爲替が安定することは疑ひない、(三)政治的には新借款が支那を援助し日本を抑制せんとするアメリカの決意を示し、この決意を遂行する爲の最大の誠實を示し、又アメリカが支那に對して絶對の同情を與へることを示してゐる、戰爭開始以來アメリカから得た三つの借款は支米友好關係を具體的に表現するものである、(四)軍事的にはアメリカが國防を強化する爲にタングステンを購入することは日本の威嚇に對する準備的處置である、多量のタングステンに對するアメリカの對支借款は日本を阻止せんとする支米協同行爲の準備を意味し、兩國の對日政策が平行してゐることを示してゐる、日本の侵略行爲は全米の憤激を惹起しアメリカ側再三の對支借款供與を齎した、我々は近き將來に於てアメリカの對日壓迫が一層加重されるものと豫測してゐる。

外國宣傳情報第四號

内閣情報部一〇・一

◎在英ソ聯人の日獨伊三國條約觀
—同盟入電—不發表—

ロンドン廿七日發—A・P報道—

ロンドンのソ聯人消息筋では廿七日今回の日獨伊三國同盟成立に關し左の如き見解を述べた。

「ソ聯は東西兩國境に於て高度に武装した國家と對立してゐるが、これ等二國家は過去に於て常にソ聯の敵であつたのみならず今日更に軍事同盟に依つて提携するに至つた、然し日獨伊同盟條約が調印に先立つてスターリンに通告されスターリンは之を承認した可能性があることは認められる、蓋し若しソ聯が實際に同意したのならばそれはソ聯が「世界を戰はしめよ、我々は戰後の穫物を拾ふ」といふ政策の線に沿うて行つたものであらう、然して日ソ不可侵條約が提議されたこの説が流布されたのも、かうした政策がその背後にあったからであらうが、然しかゝる日ソ不可侵條約が締結される筋のものならば日獨伊同盟條約に先立ち締結されてゐたであらう。」

96

外國宣傳情報第五號

内閣情報部二〇・一

一重慶日本語放送（三十日）一

（東京都市通信局聴取）

一安南に上陸した日本軍はランソンで大損害を被つたこと判明、廣西省〇〇發に依れば、佛國軍はランソンで決戦を行ひ、日本側は千余名の死傷者を出した外に戦車十臺を破壊されたこと云はれて居る。

一不明……………日本の安南侵入に不安を感じシンガポールの共同使用せんとして居る、かう云ふ風に歐洲戦争は太平洋に波及し米國の参戦は免れぬ所である、日獨伊三國軍事同盟によつて日本を参戦せしめ英米牽制に出でた、獨伊が優勢を示し空軍が制空しても太平洋迄力を伸すことは出来ない、であるから太平洋の戦は英米對日本の戦ひである。獨伊は高々飛行機で以て支援する位である、三國軍事同盟は日本が獨伊の力をかりて英米と戦ひ度いから結んだのである、併し三ヶ年の中國抗戦で弱つて居る上に海上に分散しなければならぬ、であるから南進は中國に有利である、中國の抗戦は英米に有利なのである……………不明……………

一、米國は三國同盟對抗策として中國に對する道義的物質的援助を強化すると共に日本に對して經濟的壓迫を加へると云はれて居る。

97.